
Darkness-ジンと愛し合った女-

深月姫季

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

D a r k n e s s ジンと愛し合った女一

【Nコード】

N 7 0 3 3 B

【作者名】

深月姫季

【あらすじ】

名探偵コナンに出てくる、ジンの過去を勝手に空想。ジンと愛し合った女視点で書きました。

その女は手を伸ばした。
届きそうで届かない距離。
数メートル先には、
かつて、女と愛し合った男。
そして、彼女が今も愛している男が、
銃を向けている。
…かつて愛した女に。

「ジン…こっちへ来て」

女は弱々しい声で啼いた。
右腕は組織の下っ端に撃たれた傷で、
紅く衣服を染めていた。
男―ジンは、女に応えない。
その代わり、世界一冷たい言葉を吐き出した。

「俺にお前は必要ない」

不意に銃声がして、
女はよろけた。

胸からは鮮血が絶え間なく流れ出し、
女は啞然とした。
胸に手を当てて、べっとりとした感触に気づく。

正確に急所に収まった鉄の弾は熱く、
既に、痛みさえ感じなかった。

ジンはポーカークフェイスを崩すことなく、
彼女をじっと見ている。

かつて、愛した女を…。

「私を…撃ったの」

女がゆっくりと片膝をつく。

既に傷口を押さえた手は朱に染まっていて、
もう、助からない事は自分で解っていただろう。

ジンは初めて顔を歪め、瞳を逸らした。

「お前は…知りすぎたんだ…俺達の事を」

「わ…私への愛じゃなく、組織を選んだのね…。
あなたらしいわ」

次第に女の意識が混濁していく。

ジンに言いたい事は山ほどある。

でも、どうやら彼女にはそんな時間は残されてないようだ。

ジンは少し揺れる瞳でその死に掛けた恋人を見つめた。

言葉を探しているようだった。

その顔は、既にいつもの無表情な様子に戻っている。
でも、目の奥に潜む迷いを、女だけは見抜いていた。

言葉を探しているようだった。
はなむけ
嘘の言葉…なのかもしれない。

可哀相な生き方しか、選べない男。

不器用な彼に、

女には、どうしても伝えたい言葉があった。

「愛してる…永遠に」

辛うじて囁いた言葉は、

彼に届いただろうか？

…最後に、ジンの涙が見えた気がした。

女は力尽きて倒れこみ、永久に言葉を失った。

(後書き)

未熟者ですいません、としか…
言いようがありません。

お叱りの言葉、どんどんください。

＊たくさんのアドバイスをいただいたので、

”私”の部分は女、彼女辺りに直しました。
励みになります。

ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7033b/>

Darkness-ジンと愛し合った女-

2010年10月25日02時31分発行